

皆さん、おはようございます。

今、皆さんの元気な挨拶を聞き、まっすぐこちらを見ている姿を見て、皆さんとともに、2学期を迎えられたことを、うれしく思います。

38日間の夏休みはどうでしたか。夏休みとはいえ、補習や介護実習、日々の部活動、練習試合や遠征、合宿、新人大会予選、各種コンテストなど、また、進学や就職に向けた対策、家庭での手伝いやボランティア、課題への取組など、すべき事も多くそれぞれに充実した日々を送ったことと思います。皆さんのいろいろな場面での活躍は、この後の表彰伝達にも出てきます。

さて、今日から始まる2学期は、1年の中で最も長い学期、体育大会や小松校祭を始め、行事も盛りだくさんで、仲間とともに、磨き高め合うよい機会です。また、じっくりと自己と向き合い、自己を高める、よい時期でもあります。特に3年生にとっては、就職試験がすぐそこに迫っています。就職・進学の進路を決定していく大きな山場の学期です。

そこで今日は、誰もが知っている大リーグ・マリナーズのイチロー選手、今年の3月に現役を引退したのでイチロー氏と言いますが、イチロー氏の言葉を借りながら、二つ話をします。

まず一つ目です。それは「毎日の授業に真面目に取り組む」という基本中の基本についてです。この基本なくして、本当の意味での自己実現や進路実現はないと思っています。学ぼうという意欲を持って、授業に臨む。そんな真摯な日々の取組の結果として、道が開けるのだと思います。イチロー氏は、「特別なことをするために特別なことをするのではない、特別なことをするために普段どおりの当たり前のことをする。」と言っています。

二つ目。進路を始め、部活動や学校行事など、何事もうまくいくことばかりではありません。もしかしたら試験に失敗することもあるでしょうが、諦めることなく向かって行って欲しいということです。イチロー氏は、「苦悩というものは前進したいって思いがあってそれを乗り越えられる可能性のある人にしか訪れない。だから苦悩とは飛躍なんです。」また、「何かをしようとした時失敗を恐れなくてやってください。失敗してしまったらその理由を考えて反省してください。必ず、将来の役に立つと思います。」と言っています。

皆さんも、しっかりと自己と向き合い、乗り越えて行って欲しいと思います。ただ、私たちはそんなに強く自分を保てません。つらいときや困ったとき、行き詰ったときは、落ち込んでもいいんです。泣いてもいいんです。そういう時は相談しやすい先生や友達を頼ってください。皆さんあなたを応援しています。

それでは、授業に、部活動に、行事に、メリハリをつけて2学期を頑張りましょう。以上で、始業式の挨拶とします。